

ジャワ島の鳥類について

宮 本 忠 之

昨年の7月から9月まで兵庫県立神戸高等学校のサッカー部がインドネシア遠征を行ったが、その際私は付添教官として同行した。現地に滞在したのは8月2日から8月18日までの約3週間であったが、その間ぎっしりつまった行事のため、野外においての動植物の採集、観察等は余り出来なかった。しかし移動の途中など汽車や自動車の中から見た鳥類事情や、現地において採集、又は購入した鳥類はただちに製標本として持ちかえったが、それら鳥類について説明したい。なおこの機会を与えて下さった高山校長をはじめ親善訪問の実現および実施にあたり色々な方面の方に御世話になったが、それらの方々に対して篤く御礼を申し上げるとともに、本論文作成に当り、鳥類の同定、和名の設定をはじめとして、種々御指導を賜った小林桂助氏（日本鳥学会評議員）に厚く御礼を申し上げる次第である。

道路および汽車の沿線は日本と同じように一面に開墾された畠地、水田が続いていた。それら畠地では日本であるとヒバリ (*Alauda arvensis*) が所せましと囀っているところであるが、現地ではそういったことがないせいか、鳥類が大分少ないという印象を受けた。しかし色々なサギの類、特にシラサギの仲間 (*Bubulcus ibis*, *Egretta* 等) が三々五々歩いているのは日本によく似ていた。日本では人家の近くには必ずといってよい程見られるスズメ (*Passer montanus*) も現地ではそれ程多くは見られなかった。そのほか日本におけるヒヨドリ (*Ixos amaurotis*) と同じくらいの頻度において、また同じような環境において *Pycnonotus* とくに *Pycnonotus aurigaster* が見られた。また畠地などで多く見られた種類としては体が殆んど真白に見える *Gracupica melanoptera* が我が国のムクドリ (*Spodiopsar cinerea*) と同じような感じで飛び回っていた。体が真黒で尾羽の非常は長いオウチュウ (*Dicrurus macrocerus*) が畠の中の手杭や電線にとまっているのを時々観察した。中部ジャワの高原都市バンドンの宿舎の付近では水田のそばを小川が流れていてその上を小形のツバメ (*Hirundo tahitica* と推察される) が7~8羽飛んでいた。

われわれの船が南支那海の大海原の中で毎日島一つ見えず航行している時、なぐさめとなったのはミズナギドリ類 (*Puffinus*) であった。体を右に左に傾けながら水面

をすれすれに飛んでいる姿をあかずながめたものであった。船が北ボルネオの港サンダカンの港外で停泊している時、2羽のツメナガセキレイ (*Motacilla flava*) が船中に迷い込んで来、1羽は採集したが、1羽はそのまま船と一緒に日本までやって来て迷鳥として名古屋に入ってしまったのは面白い出来事であった。またわれわれがインドネシアのジャカルタに入港した際、港の上空を50羽くらいの胸から頭にかけて真白のトビ (*Haliastur indus*) が悠々と飛んでいたのは今回の旅行中最も印象的なシーンであった。

今回の旅行中、採集または購入することにより集めた鳥類は32種、39羽であったが、つぎにそれら鳥類について説明する。

Family Columbidae

(1) *Ptilinopus melanocephalus melanocephalus* (Forster)

カルカヤバト 1 ♂ スマラン

(形態) ♂は全体エメラルドグリーンで頭と頸は非常に薄い灰色、あごと喉は黄金色、後頸と首に黒色部あり、下腹と肛門付近は黄金色、下尾筒はカーミン赤色、♀は完全なグリーン、下腹と肛門部に薄い黄色の羽辺あり、下尾筒の赤はる程濃くない。嘴は緑黄色、脚は暗葡萄赤色、嘴峰18mm、翼長117mm、尾長61mm、跗蹠14mm

(生態) 森林には極めて普通の鳥である。

(分布) 本種はジャワからセレベス、モルッカにかけて広く分布し、次の亜種に分れる。

(亜種) ① *P. m. bangueyensis* (Philippine諸島: Banguey, Basilan, Bongao, Cagayan, Mindanao, Palawan, Sibutu, Sulu, Tawi Tawi) ② *P. m. talautensis* (Talaut島) ③ *P. m. xanthorrhous* (Sanghir島) ④ *P. m. melanocephalus* (Java, Kangean, Bali, Lombok, Sumbawa, Flores, Lombok, Panter, Alor, Sumba, Djampea, Kalao, Saleyer) ⑤ *P. m. melanospilus* (Celebes) ⑥ *P. m. margaretha* (Kalao tua, madu) ⑦ *P. m. pelingensis* (Peling, Banggai) ⑧ *P. m. chrysorrhous* (Sula諸島, Ceram) ⑨ *P. m. aurescentior* (Tukang-Besi島) ⑩ *P. m. massopterus* (Java海のPulo mata Siri)

(2) *Treron vernans purpurea* (Gmelin)

アカエリアオバト (新称) 1 ♀ スマラン

(形態) 小形のオオバトでは頭部灰色、後頸部から胸をとりまく部分はあずき色で美麗、体のその他の部分は暗緑色、翼は黒く、尾は鉛色で先端は黒い。♀はるの美麗部を欠き全体暗緑色、レモンイエローの翼帯あり。嘴は青味がかかった角色、脚は暗赤色、嘴峰19mm、翼長134mm、尾長81mm、跗蹠17mm

(分布) 本種はマライ、インドシナ、フィリピン、セレベス、ジャワ等に分布し、次の亜種に分かれる。

(亜種) ① *T. v. vernans* (Philippine諸島) ② *T. v. adina* (Anamba諸島, 南支那海) ③ *T. v. griseicapilla* (Burma, 南Tenasserim, Siam, Cambodia, Cochinchina, Annam, Malay半島, 南Sumatra, Banka, 西部・北部・Borneo) ④ *T. v. parva* (南東 Sumatraの Deli) ⑤ *T. v. pelochlora* (Natuna諸島) ⑥ *T. v. mesochloa* (Nias, Sipora, Siberut, 北Pagi, Engano) ⑦ *T. v. miza* (Simalur) ⑧ *T. v. purpurea* (Java, Bali, Kangean, 南部・東部・Borneo, Lombok, Sumabawa, Celebes) ⑨ *T. v. zalepta* (Celebes)

(3) *Geopelia sinica sinica* (Linnaeus)

チヨウシヨウバト 1 ♀ ジャカルタ

(形態) 極めて小形のバトで全体淡褐色で尾は長い、背から胸にかけて黒色の横じま顕著、顔は灰色、嘴は青味がかかった黒色、脚は赤味がかかった褐色。嘴峰14mm、翼長99mm、尾長76mm、跗蹠15mm

(生態) 原野、庭園、村落付近の地上に生棲する。

(備考) ジャワ島では最も普通の飼鳥で筆者は民家の庭先に旗ざおのようなものを立て、その頂上にひもで鳥籠ごと上げているのを至る所で見ることが出来た。その高さが余りにも高過ぎるので声を楽しむためののか、何か縁起をかついでこのようなことをするのか不明である。我が国にも戦前は多数輸入されて飼鳥として飼われ、禽舎でもよく繁殖していた。

(分布) 本種はインド、マライ、小スンダ列島、フィリピン、ジャワ、オーストラリアにかけて広く分布する。

(亜種) ① *G. s. sinica* (南Tenasserim, Malay半島, Philippine諸島, Sumatra, Natuna島, Borneo, Java, Kangean, 小スンダ列島, Celebes, Amboyna, Seychellus, Madagascar, Mauritius, Reunion, St. Helena, Hawaii, 西Australia) ② *G. s. maugesi* (Timor, Flores, Sumbawa, Wetter, Lettie, Kohr, Tenimber諸島, Key諸島) ③ *G. s. placida* (北部Australia) ④ *G. s. tranquilla* (南Queensland, New South Wales, Victoria, 南部・南西Australia) ⑤ *G. s. clelandi* (中央・西Australia)

Family Alcedinidae

(4) *Halcyon cyanoventris* (Vieillot)

ジャワルリカセミ (新称) 1 ♀ スラバヤ

(形態) 大形の美麗種で嘴は朱赤色、頭は黒く、頸は濃栗色、背と尾は濃紺色、肩は黒、翼はるり色で大形白斑あり、下面喉と胸は濃栗色、腹は濃紺色、脚は緋色。嘴峰61mm、翼長118mm、尾長83mm、跗蹠13mm

(生態) 平地の農耕地付近、見通しのきく広い所、川の土手、湖畔等に住み、白蟻の巣に穿った穴や、川の土手に穴を穿って営巣する。主として魚類を食す。

(分布) 本種はジャワ及びバリの特産種。

Family Capitonidae

(5) *Xantholaema haemacephala rosea* (Dumont)

ムネアカヒメゴシキドリ (新称) 2 ♀ ジョクジャカルタ、マラン

(形態) 極小形のゴシキドリで前頭から頭上にかけてと喉・上胸は濃赤色、後頭と頭側は黒、上面は暗緑、下面は緑黄色で暗緑色の縦斑あり、脚は朱褐色、嘴は短くて黒。嘴峰16mm、翼長82mm、尾長39mm、跗蹠17mm

(生態) 本種は庭園、ジャングルの開けた所に普通にいます。「トック・トック」という鳴き声は金属的である。この鳴き声は都会の樹にもしばしば聞ける。

(分布) 本種はインド、インドシナ、マレー半島、フィリピン、スマトラ、ジャワ、バリに分布する。

(亜種) ① *X. h. haemacephala* (Philippine諸島) ② *X. h. indica* (Persia, 東部Bengal Assam, Nepal, Sikkim, Burma, Siam, Annam, Yunnan, Malay半島) ③ *X. h. lutea* (Ceylon, India全部) ④ *X. h. delica* (SumatraのDeli, Banka) ⑤ *X. h. rosea* (Sumatra, Bali) ⑥ *X. h. intermedia* (Philippine諸島)

(6) *Cyanops armillaris armillaris* (Temminck)

ズアオゴシキドリ (新称) 1 ♀ マラン

(形態) 中形のゴシキドリで嘴は比較的短い。額日先黒前頭部と上胸部はオレンジ色、翼にオレンジ色の斑点あり、頭中央コバルト色、其の他は緑色である。嘴は黒く、脚は黒褐色。嘴峰23mm、翼長98mm、尾長64mm、跗蹠21mm。

(生態) 海拔500フィートから6,000フィート位の森の中に発見される。このゴシキドリは「ゴロック、ゴロックゴロック、トック、トック、トクトクトク」という変わった鳴き方をする。

(分布) 本種はジャワ、バリ、マライ半島、スマトラ、ボルネオ等に分布する。

(亜種) ① *C. a. armillaris* (Java) ② *C. a. henrici* (Malay半島, Sumatra, Borneo) ③ *C. a. baliensis* (Bali)

(7) *Chotorea javensis javensis* (Horsfield)

キガシラオニゴシキドリ (新称) 1 ♂ スマラン

(形態) 全体濃暗緑色である。頭上はレモンイエロー、下嘴基部にレモンイエローの斑あり、眉斑及び目先から目をへて喉に亘る黒色部あり、喉は暗赤色である。嘴は黒く脚は鉛色である。嘴峰41mm、翼長112mm、尾長72mm、跗蹠26mm。

(生態) 高い樹でジャングルの果実を食べる。「ブー、ブー、ブー」と大声でなき、それは森の中で終日聞える。

(分布) 本種はマライ半島からジャワにかけて分布する。

(亜種) ①*C. j. javensis* (Java) ②*C. j. ampala* (Tana Bala島, Batu諸島) ③*C. j. mystacophanes* (南西Siam, Tenasserimの南半, Malay半島) ④*C. j. aurantiifrons* (Siam)

Family Picidae

(8) *Dinopium javanense javanense* (Ljungh)

コガネミユビゲラ (新称) 1 ♂ ジョクジャカルタ

(形態) ♂は濃赤色の短い羽冠あり、♀ではこの部分黒白の紋、兩覆は黄金黄色、背は腰が赤く、翼は黒く白斑あり、尾は黒く、頭側に太い黒と白の線あり、腮・喉はばふ白色、胸と腹との羽縁は黒く、3趾である。嘴と脚は鉛白色。嘴峰27mm、翼長122mm、尾長81mm、跗蹠19mm

(生態) 農耕地や森林には普通のキツツキである。

(分布) 本種はマライ、スマトラ、ボルネオ、パラワン、エラバン等に分布する。

(亜種) ①*D. j. rubropygialis* (Indiaの南西海岸) ②*D. j. intermedium* (Shan States, Yunnan, Siam, Cochin-China) ③*D. j. everetti* (Philippine諸島, Bala bac, Calamianes, Palawan) ④*D. j. borneonense* (Borneo, Labuan) ⑤*D. j. javanense* (Malay半島 Penang, Singapore, Sumatra, 西部・中央Java) ⑥*D. j. exsul* (東部Java, Bali)

Family Laniidae

(9) *Lanius schach bentet* Horsfield

タカサゴモズ 1 ♀ マラン

(形態) 日本のモズと殆んど同大、頭上は黒く、背は灰青色、腰は淡黄褐色、翼と尾は黒、翼には白斑あり、下面喉は白く、胸・腹は淡さび色である。♀は頭上も灰青色、嘴は黒く、脚は青味がかった黒。嘴峰18mm、翼長86mm、尾長87mm、跗蹠23mm。

(分布) 本種はマライ諸島、フィリピン、小スンダ列島北ボルネオ、パラワン等に分布。

(亜種) ①*L. s. schach* (南China, Hainan, Quang

tri, AnnanのLangkhoai, 東部Tonkin) ②*L. s. formosae* (Formosa) ③*L. s. erythronotus* (北西India Turkestan, Afghanistan) ④*L. s. caniceps* (南India, Ceylon) ⑤*L. s. bentet* (Malay半島からSumatraまで, Borneo, Java, Bali, Kangean諸島, Lombok Sumbawa, Alor, Welter, Timor, Kisser) ⑥*L. s. stresemanni* (German new Guinea) ⑦*L. s. nasutus* (Philippine諸島, 北部Borneo) ⑧*L. s. suluensis* (Sulu島) *L. s. tosariensis* (東部Java, 小スンダ列島)

Family Pycnonotidae

(10) *Chloropsis viridis viridis* (Horsfield)

ノドグロコノハドリ (新称) 1 ♂ スマラン、1 ♀ ジョクジャカルタ

(形態) ヒヨドリより小形、♂は全体金属光沢ある美しい緑色、目の下部から喉にかけて黒色である。♀はこの黒色部を欠く。嘴は黒く脚は鉛黒色。♂は嘴峰19mm、翼長105mm、尾長77mm、跗蹠20mm ♀は嘴峰19mm、翼長99mm、尾長71mm、跗蹠19mm。

(生態) 3,000 フィートまでの森に普通である。海岸地方を好む。

(分布) 本種はタイ、マライ半島、ボルネオ、スマトラジャワ等に産し、ジャワ島ではあまり多くない。

(亜種) ①*C. v. viridis* (Java) ②*C. v. zosterops* (Tenasserim, Moulmein, 南西Siam, Malay半島, Borneo, Sumatra) ③*C. v. parvirostris* (Nias)

(11) *Pycnonotus goiavier analis* (Horsfield)

マミジロシロガシラ (新称) 1 ♀ ボゴール

(形態) 上面翼・尾は暗緑褐色、頭上は淡褐色で顕著な白色の肩斑がある。下面は灰白色で不明瞭な淡褐色の胸帯がある。下尾筒はレモンイエローである。嘴は黒く脚は鉛黒色。嘴峰16mm、翼長87mm、尾長84mm、跗蹠21mm。

(生態) 低地、庭園等で繁殖する。都市付近に生棲する普通種である。

(分布) 本種はインドシナ、ジャム、フィリピン、マレー半島、スマトラ、ボルネオ、ジャワ、バリ、ロンボック等に分布する。

(亜種) ①*P. g. goiavier* (Philippine諸島) ②*P. g. suluensis* (Sulu, Mindanao, Basilan) ③*P. g. analis* (Siam, Cochin China, Tenasserim, Malay半島, Sumatra, Banka, Billiton, Borneo, Java, Kangean, Bali, Lombok)

(12) *Pycnonotus aurigaster aurigaster* (Vieillot)

コシジロシロガシラ (新称) 3 ♀ ジャカルタ、ボゴール、ジョクジャカルタ

(形態) 上面淡黒褐色で上尾筒は白で翼・尾・喉は黒く頭上は光沢ある黒色、下面は汚白色で下尾筒は鮮黄色、

嘴と脚は黒。嘴峰17mm、翼長90mm、尾長88mm、跗蹠23mm
(生態) ジャワでは極めて普通の鳥で低地の農耕地・公園・庭園にもしばしば見受けられる。筆書はボゴール植物園(ポイテンゾルグ植物園)でも、スマランの高台にあるジョコスヨト氏の庭園にも(我々の宿舎)本種をしばしば観察した。

(分布) 本種はインドからインドシナにかけ、又ジャワ、バリ等に分布し、次の亜種に分れる。

(亜種) ①P. a. aurigaster (Sumatra, Java) ②P. a. martinii (Banka) ③P. a. germani (Cambodia, 南Annam, Cochin China, Laos, Siam) ④P. a. xanthorrous (Shan States, YunnanからChina) ⑤P. a. andersoni (Shensi, Kiangsi, Fohkien) ⑥P. a. thais (南東Siam)

(13) *Pycnonotus bimaculatus* barat Robinson & Kloss

キボシシロガシラ (新称) 1 ♂ ボゴール

(形態) 全体暗オリーブ色であり、他のPycnonotusより尾がやや長い。上嘴の基部から目の上にかけて顕著な橙黄色の黄線が走る。腹は汚白色で下尾筒は鮮黄色である。嘴と脚とは黒、嘴峰14mm、翼長75mm、尾長85mm、跗蹠21mm。

(生態) 山岳部に生棲する。

(分布) 本種はスマトラ、ジャワ、バリに分布するが、ジャワではそんなに多くない。次の亜種に別れる。

(亜種) ①P. b. barat (Sumatra, 西部・中央Java) ②P. b. bimaculatus (東部Java, Bali) ③P. b. snouckaerti (Sumatra)

(14) *Pycnonotus dispar* dispar (Horsfield)

ノドアカシロガシラ (新称) 1 ♀ スマラン

(形態) 頸部・顔は黒く、背・腹・尾は暗オリーブ色、下面喉は鮮明な朱赤色で胸以下は橙黄色であるが、腹はややうすい。嘴は黒く、脚は黒褐色。嘴峰15mm、翼長90mm、尾長89mm、跗蹠15mm。

(生態) 各地の森林には極めて普通である。

(分布) 本種はインド、マラヤ、ボルネオ、ジャワ、スマトラに分布する。

(亜種) ①P. d. dispar (Sumatra, Java) ②P. d. gularis (南India)

(15) *Criniger tephrogenys* balius Stresemann

ノドジロシロガシラ (新称) 1 ♂ ♀ 不明 スマラン

(形態) 上面暗オリーブ色で顕著な羽冠がある。喉は白く、胸は暗オリーブ色、以下の下面は鮮黄色。嘴はねずみ黒色、脚はねずみ褐色。嘴峰18mm、翼長97mm、尾長89mm、跗蹠18mm。

(生態) 小群をなし、平地の森林中に普通に見られる。

(分布) 本種はヒマラヤ、インドシナ、マレー半島、ス

マトラ、ボルネオ、フィリピン、ジャワ、バリ等に分布する。

(亜種) ①C. t. bartelsi (西部・中部Java) ②C. t. balius (東部Java, Bali) ③C. t. henrici (Yunnan, Tonkin, 北部Annam, 北部Siam, 北西Shan States) ④C. t. pallida (Hainan) ⑤C. t. annamensis (Annam) ⑥C. t. flaveolus (Himalayas, Nepal, Assam, Brhamaputra, Manipur, Tippera) ⑦C. t. griseiceps (中央・西部Burma, Tenasserimの北から南) ⑧C. t. burmanicus (Salwin) ⑨C. t. tephrogenys (南TenasserimからMalay半島に、Sumatraの低地) ⑩C. t. sumatramus (Sumatraの山岳部) ⑪C. t. frater (Philippine諸島, Palawan)

Family Turdidae

(16) *Copsychus saularis* javensis Chasen & Kloss

シキチヨウ 1 ♀ 幼 ボゴール

(形態) ツグミより小さく、♂は全体金属光沢ある黒色で、翼の一部は白、腹部は純白、中央の尾羽は非常に長くて黒色であるが、外側尾羽は白色である。♀は体の上部は金属光沢ある灰色を帯びた黒、胸は暗灰色、下部の残部は白、嘴は褐色がかかった黒、脚も褐色がかかった黒。嘴峰18mm、翼長95mm、尾長84mm、跗蹠24mm。

(生態) 叢林、農耕地には極めて普通の鳥であり、飼鳥としても有名、♂♀で生活し、明るくさえずる。

(分布) インド、中国南部、フィリピン、マレー諸島に広く分布する。

(亜種) ①C. s. ceylonensis (Ceylon, Travancoreの極南部) ②C. s. andamanensis (Andaman諸島) ③C. s. musicus (Malay半島, Sumatra) ④C. s. pluto (東部Borneo) ⑤C. s. javensis (西部・中部Java) ⑥C. s. amoenus (中部・東部Java, Borneo, Bali) ⑦C. s. niger (北Borneo) ⑧C. s. problematicus (西部Borneo, 南Sarawak) ⑨C. s. pagiensis (Siberut, Sipora, North Pagi島) ⑩C. s. zacnecus (Simalur, Nias) ⑪C. s. nesiotis (Banka, 東部Sumatra) ⑫C. s. prosthopellus (南China) ⑬C. s. saularis (Indiaの殆んど全部、Burmaから南Tenasserim, Shan States, Yunnan, China)

(17) *Kittacincla malabarica* javana Kloss

アカハラシキチヨウ 1 ♀ ジョクジャカルタ

(形態) ツグミよりはるかに小形で尾が著しく長い。体・翼・尾はおおむね金属光沢ある黒色である。腰と外側尾羽は純白で、胸以下の下面はきつね色の美しい鳥である。嘴は黒く脚は黄白色。嘴峰16mm、翼長89mm、尾長119mm、跗蹠24mm。

(分布) 本種は広くインド、インドシナ、フィリピンか

らマレー諸島にかけて分布する。

(亜種) ①*K. m. malabarica* (India, Ceylon, Burma) ②*K. m. albiventris* (Andamans) ③*K. m. macroura* (Pula Condore off Cochin China) ④*K. m. minor* (Hainan島) ⑤*K. m. interposita* (南Annam, Cochin ChinaからTenasserim, Malay半島) ⑥*K. m. tricolor* (Malay半島, Sumatra, 西部Java) ⑦*K. m. javana* (中部Java) ⑧*K. m. omissa* (東部Java) ⑨*K. m. nigricauda* (Kangean諸島, Pulo Mata Siri) ⑩*K. m. suavis* (Borneoの南から北) ⑪*K. m. stricklandi* (英領北Barneo) ⑫*K. m. eumesa* (Natuna諸島) ⑬*K. m. ochroptila* (Anamba諸島) ⑭(?) *K. m. heterogyna* (Anamba諸島の南) ⑮(?) *K. m. abbotti* (Banka島) ⑯(?) *K. m. mallopercna* (Sing Kep島) ⑰*K. m. opisthopela* (Tana Bala島, Batu諸島) ⑱*K. m. opisthisa* (Pulo Tuanku, Banjak諸島) ⑲*K. m. melanura* (Simalur, Pulo Lasia, Pulo Babi, Nias Siberut, Sipora, 北pagi島)

(18) *Zoothera interpres interpres* (Temminck)

チャガシラクロツグミ (新称) 1♂ スマラン

(形態) クロツグミより大であるが、尾は短い。頭部から後頭にかけて濃栗茶色、以下の背・翼・尾は煙黒色、翼角に顕著な白斑あり、下面喉・胸は黒色、腹部は白色で黒斑あり。嘴は黒褐色で脚はうすもも色。嘴峰20mm、翼長104mm、尾長55mm、跗蹠28mm。

(生態) ジャワの山中で繁殖する。深い森林中に住み、比較的少ない鳥である。

(分布) 本種はマライ半島、フィリピンからボルネオ、スマトラ、ジャワ、バリ、ロンボック等にかけて分布する

(19) *Saxicola caprata pyrrhonota* (Vieillot)

クロノビタキ (新称) 1♂ マラン

(形態) ノビタキ大で、♂は全体光沢ある黒色、翼に大形白斑あり、上下尾筒は白色、♀は灰褐色で黒色斑あり腰と下尾筒は赤褐色である。嘴と脚は黒。嘴峰14mm、翼長70mm、尾長52mm、跗蹠18mm。

(生態) 原野・叢林に極めて普通に生棲する。

(分布) 本種はペルシアからフィリピン、ボルネオ、ジャワ、セレベス等に広く分布する。

(亜種) ①*S. c. caprata* (Philippine諸島, Borneo) ②*S. c. burmanica* (Burma, Yunnan, Assam, Brahmaputra) ③*S. c. bicolor* (India, Himalayas, Tenasserim, Malay半島には冬鳥として) ④*S. c. atrata* (Ceylon, 南India) ⑤*S. c. rossorum* (Transcaspia, Persia, Afganistan, Cashmir, 北西Indiaには冬鳥として) ⑥*S. c. pyrrhonota* (Java, 小スンダ列島) ⑦*S. c. albonotata* (Celebes) ⑧*S. c. aethiops* (英

領New Guinea, New Britain)

Family Sylviidae

(20) *Prinia familiaris* Horsfield

フタスジハウチワドリ (新称) 1♂ マラン

(形態) 上面暗緑褐色、翼に白色2帯あり、喉及び胸の中央は白色、胸側は灰色で腹は淡黄色、尾は長く先端に黒帯あり、嘴は青味がかった黒、脚は肉色。嘴峰13mm、翼長54mm、尾長64mm、跗蹠21mm。

(生態) 林や庭園に多い鳥で樹上や叢林に営巣する。動作はびんしょうで枝の間を小さく動き回る。快活な声でさえずる。

(分布) 本種はジャワ、スマトラ、バリに分布する。

Family Muscicapidae

(21) *Cyornis banyumas banyumas* (Horsfield)

ヒメチャバラオオルリ (新称) 1♂ ジョクジャカルタ

(形態) オオルリより小さく、上面翼・尾は暗青色、下面はきつね色で下腹部は白色である。♀は上面褐色。嘴黒、脚褐色、嘴峰19mm、翼長75mm、尾長64mm、跗蹠17mm。

(生態) 鳴き声がよく、大きなよい声でさえずる。

(分布) 本種はヒマラヤ、インドシナ、マライ、ボルネオ、ジャワ等に広く分布する。

(亜種) ①*C. b. cantatrix* (西部Java) ②*C. b. banyumas* (中部Java) ③*C. b. limitans* (東部Java) ④*C. b. whitei* (北部Burma, 西部Yunnan, Tenasserim) ⑤*C. b. lemprieri* (Palawan, Philippine諸島) ⑥*C. b. magnirostris* (Nepal, Sikkim, Assam, Cachar, Brahmaputra) ⑦*C. b. montana* (中央Borneo) ⑧*C. b. caerulifrons* (北部Malay半島, Burma, Siam)

Family Dicaeidae

(22) *Dicaeum trochileum trochileum* (Sparrman)

ツアカハナドリ (新称) 1♂ スマラン

(形態) キクイタダキ大の鳥で、頭上・背・腰・喉は光沢ある朱赤色、翼と尾とは金属光沢ある黒色、胸以下の下面は灰ねずみ色。嘴は黒で基部は少し青色がかかる。脚は黒。嘴峰11mm、翼長51mm、尾長26mm、跗蹠11mm。

(生態) 平地に極めて普通の鳥で、絶えず樹から樹へと動き回り樹の実を食べ、小さく鳴きながら飛ぶ。郊外の庭園等にも飛来する。筆者はスマランの高台ジョコスオト氏の庭で採集した。

(分布) ジャワ、バリ、ロンボック、ボルネオ等に分布する。

Family Ploceidae

(23) *Passer montanus malaccensis* Dubois

スズメ 1♂、1♀ ジャカルタ

(形態) 日本におけるスズメとよく似ているがすこし小さい。♂♀は殆んど変わらない。嘴は黒く、脚は薄黒い肉色。嘴峰12mm、翼長69mm、尾長52mm、跗蹠18mm。

(生態) 生活については日本のスズメとよく似ているが現地では日本程数が多くない様に感じた。又日本のように屋根に多く見られる事はなく、樹枝上に多く見受けた

(分布) 本種はヨーロッパ、アジア、北アフリカを通じて分布している。

(亜種) ①P. m. transcausicus (Transcaucasus) ②P. m. iubilaus (CaucasusからTsingtauまで) ③P. m. zaissanensis (Saisan) ④P. m. dybowskii (UssuriとKorea) ⑤P. m. kaibatoi (Saghalien) ⑥P. m. dilutus (Turkestan, 東部Persia, Afghanistan) ⑦P. m. volgensis (Volgaの三角州) ⑧P. m. saturatus (Japan, Siberia, Manchuria, 北China) ⑨P. m. obscuratus (China) ⑩P. m. taivanensis (Formosa, 琉球列島南部, 南China) ⑪P. m. malaccensis (東部Himalayas, Sumatra, Java, Borneo, Siam, Yunnan, 南西China)

Family Sturnidae

(24) Aethiopsar grandis javanicus (Cabanis)

カバイロハツカ 2♀ ジャカルタ、ジョクジャカルタ

(形態) ムクドリ大で全体煙黒色であり。前頭部に直立せる羽冠あり、翼には大形白斑あり、尾端は白い。嘴と脚とは橙黄色。嘴峰22mm、翼長126mm、尾長68mm、跗蹠35mm

(生態) ジャワ島では極めて普通の種類で、庭園の地上等でも時々見かける事が出来る。日本にも戦前は飼鳥として多数輸入されていた。

(分布) インドからセレベス、マライ、ジャワにかけて分布する。

(亜種) ①A. g. grandis (南西Burma, 南Shan States, KarenniからTenasserim, Yunnan, Siam, Cochinchina) ②A. g. javanicus (Java) ③A. g. infuscatus (北部BurmaからArakan, Manipur, Assam, Brahmaputraら南) ④A. g. cinereus (Celebes, Togi an諸島)

(25) Gracupica melanoptera melanoptera (Dau din)

シロムクドリ (新称) 1♂, 1♀ ジョクジャカルタ、スラバヤ

(形態) ムクドリ大、全体純白で翼と尾の黒の顕著な鳥で、目の裸出部は黄色、嘴は象牙黄色、脚は灰色がかった黄、嘴峰22mm、翼長110mm、尾長69mm、跗蹠34mm。

(生態) 平地には極めて普通の鳥で我が国のムクドリ

様に時々地上に下りる事がある。人家の軒等に営巢することも日本のムクドリと似ている。筆者も現地において各地の鳥等でこの鳥をしばしば観察した。

(分布) ジャワ、バリ、ロンボックに産する。

(亜種) ①G. m. melanoptera (西部・中央Java) ②G. m. tricolor (東部Java) ③G. m. tertia (Bali, Lombok)

(26) Leucopar rothschildi Stresemann

カンムリシロムクドリ 1♀幼 スラバヤ

(形態) 我が国のムクドリ大であるが、全体純白色で翼端と尾端が黒く、頭上には白色の長い羽冠がある。目の周囲の裸出部は鉛青色である。(本標本は他の部分は全く上述と一致するが、幼鳥であるので羽冠が認められない) 嘴は青味がかった灰黄色、脚は黄青色。嘴峰28mm、翼長123mm、尾長73mm、跗蹠33mm。

(分布) バリ島特産

(備考) 筆者は本種をスラバヤで購入した。バリ島から輸入されたものかもしれないが、もしこの鳥がジャワにも産するとすれば新事実となる。

(27) Aplonis panayensis strigatus (Horsfield)

テリムクドリ (新称) 1♂ ジョクジャカルタ

(形態) コムクドリ大で全体強い金属光沢を帯びた黒色である。嘴と脚は黒。嘴峰16mm、翼長102mm、尾長66mm、跗蹠21mm。

(生態) 本種は平地の森林には極めて普通に生棲し、高らかなよい声で鳴くが、深いしげみの中にいるので観察する事は困難である。木の窪みに赤みを帯びた褐色の斑点のある青い卵を3~4箇生む。

(分布) 南インドシナからセレベス、フィリピン、スマトラ、ジャワ、バリにかけて分布する。

(亜種) ①A. p. panayensis (Philippine諸島の幾つかの島) ②A. p. todayensis (Philippine諸島) ③A. p. gusti (Bali) ④A. p. strigatus (Malay半島(?) Sumatra, Banka, Borneo, Java) ⑤A. p. heterochlorus (Tioman, Malay半島の南, Anamba諸島) ⑥(?)A. p. irwini (北部Tenasserim) ⑦A. p. affinis (Cachar, Tipparah) ⑧A. p. tytleri (Car Nicobar, Trinkut, 南Andamans) ⑨(?)A. p. eustathis (東部Borneo) ⑩(?)A. p. alipodis (Pulo Pandigany) ⑪A. p. halictypus (Trang, Siam) ⑫A. p. altirostris (Nias, Batu島, Tello島, Si-Oban) ⑬(?)A. p. rhadinorhamphus (Simalur島) ⑭A. p. pachistorhinus (南Pagi島, Siberut, Siberut, Sipora) ⑮A. p. enganensis (Engano) ⑯A. p. leptorhynchus (Pulo Pini) ⑰A. p. neglectus (Celebes)

(28) Gracula javana javana (Cuvier)

キウウカンチヨウ 1♀ スラバヤ

(形態) 初列風切の部分に白斑あるのを除いては全体黒色、上面頭を含めて紫色を帯びて光沢あり。下面は緑紫色を帯びて光沢あり。頭側には肉垂がある。嘴は橙色で先端は黄、脚は青味を帯びた黄色。嘴峰31mm、翼長176mm、尾長87mm、跗蹠36mm。

(生態) 森林の中や森林附近の低地に生棲する。飼鳥として普通の鳥で、我が国にも輸入される。

(分布) インドからインドシナ、マライ諸島に分布する(亜種) ①*G. j. javana* (TenasserimからSiam, Penang, Singapore, Natuna島, Borneo, Sumatra, Biliton, Banka, Java, Kangean, Bali) ②*G. j. bawana* (Bawean島) ③*G. j. intermedia* (南西China, Hainan, Cochin China, Tenasserim, Burma, Himayalas, Assam, 南西India, 北Malacca) ④*G. j. prasiocara* (Tioman, Aor) ⑤*G. j. palawanensis* (Balabac, Calamianes, Palawan) ⑥*G. j. enganensis* (Engano) ⑦*G. j. andamanensis* (Andaman, Nicobar諸島) *G. j. halibrecta* (Nicobar島) ⑨*G. j. miotera* (Simalur島, Sumatra西部) ⑩*G. j. batuensis* (Batu諸島, Mentgwi諸島)

Family Dicururidae

(29) *Dicururus macrocercus javanus* Kloss

オウチユウ 1 ♂ スラバヤ

(形態) ヒヨドリ大であるが、カラスのように全体金属光沢ある黒色で尾は著しく長く、先端は叉状をなす。嘴も脚も黒、嘴峰21mm、翼長139mm、尾長162mm、跗蹠20mm

(生態) 本種は低地、草原、農耕地に極めて普通で、筆者は鉄道沿線やバス道路にそった電線等にとまっている本種をたびたび観察した。

(分布) 本種は広くインド、中国南部、インドシナ、台湾等に分布し、ジャワ島においても極めて普通。

(亜種) ①*D. m. macrocercus* (India半島) ②*D. m. minor* (Ceylon) ③*D. m. cathaecus* (Burma, 南China, Hainan, Siam, Indo-Chinese countries) ④*D. m. harterti* (Formosa) ⑤*D. m. thai* (南Tenasserim, Siam, 南Annan) ⑥*D. m. javanus* (Java, Bali)

Family Oriolidae

(30) *Oriolus chinensis maculatus* Vieillot

コウライウグイス 1 ♀ ジャカルタ

(形態) 全体緑黄色、翼は黒く、黒色の太い眉斑は後頭部にて連絡する。嘴は鮮桃色で脚は鉛黒色。嘴峰32mm、翼長127mm、跗蹠22mm。

(生態) 平地の森林には極めて普通の鳥で、高らかなよい声でなくが、深いしげみの中にいるので観察することは困難である。

(分布) インド、満州、朝鮮、フィリピン、セレベス、ボルネオ、ジャワ、スマトラ等に広く分布する。

(亜種) ①*O. c. diffusus* (繁殖はDauria, Ussuriland Manchuria, Korea, China, Formosa, Hainan, 冬には南China, Yunnan, Tonkin, Annam, Siam, Malay半島, Burma, Bengal, Indiaの東, Ceylon) ②*O. c. tenuirostris* (中部India, 東部Himalaya, 西Nepal, Cachar, Assam, Minipeu, Burma, Shan States, Tenasserim, Pegu, Yunnan, 南China, Siam) ③*O. c. andamanensis* (Andaman諸島) ④*O. c. macrourus* (Nicobar諸島) ⑤*O. c. maculatus* (Sumatra, Banka, Borneo, Java, Bali) ⑥(?) *O. c. richmondi* (Pagi諸島) ⑦*O. c. sipora* (Sipora島) ⑧*O. c. siberu* (Siberut島) ⑨*O. c. mundus* (Simalur島) ⑩*O. c. lamprochryseus* (Solombo Besar島) ⑪*O. c. broderipi* (Sumbawa島) ⑫*O. c. celebensis* (北部・中部Celebes) ⑬*O. c. macassariensis* (南Celebes) ⑭*O. c. insularis* (Kangean諸島) ⑮*O. c. boneratensis* (Bonerate, Kalao, Jampea諸島) ⑯*O. c. oscillans* (Binonka, Tukang Besi諸島) ⑰*O. c. sangirensis* (Great Sangi島) ⑱*O. c. formosus* (Tagulandang諸島) ⑲*O. c. chinensis* (Philippines) ⑳*O. c. yamamurae* (Basilan島) ㉑*O. c. frontalis* (Sula諸島) ㉒*O. c. suluensis* (Sibutu, Sulu) ㉓*O. c. palawanensis* (Palawan) ㉔*O. c. melanisticus* (Talaut諸島)

参考文献 Birds of the island of Java Vol I,

Vol II (by Kuroda)

The birds of Borneo (by Bertram E Smythies)

Birds of Malaysia (by Jean Delacour)
飼鳥集成 (鷹司信輔著)

「カンムリシロムクドリについて」(黒田長礼) 雑誌「野鳥」昭和19年9月号

新会長に紅谷理事長

去る11月10日 県立長田高校会議室において理事会開催、次回会長の推薦について協議し、紅谷理事長を推すことに万場一致で可決、明春の総会において会員諸氏の承認を得ることになった。(文責編集子)